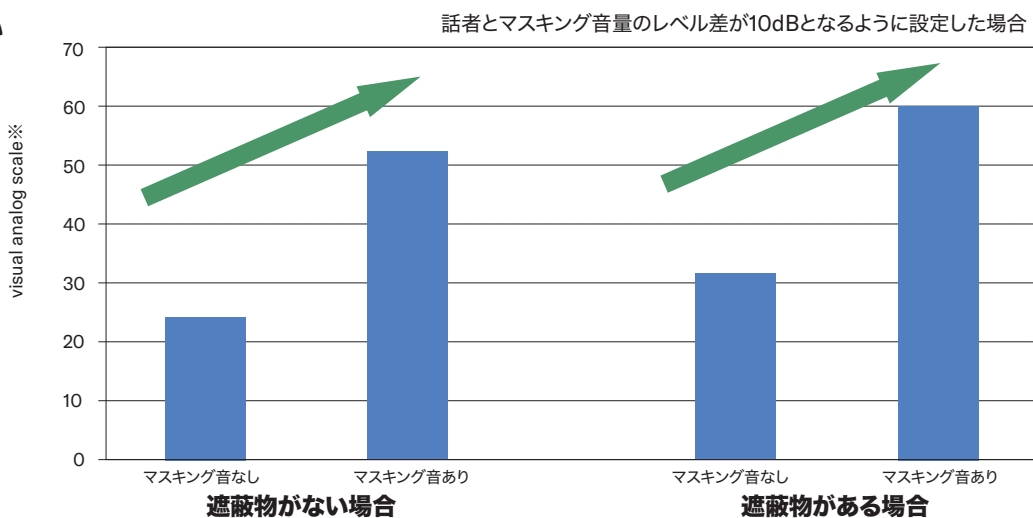


マスキング音で「集中のしやすさ」が改善

**事例
研究**

マスキング音によってオフィスでも「集中のしやすさ」が改善されることが示唆されました。

集中しやすい



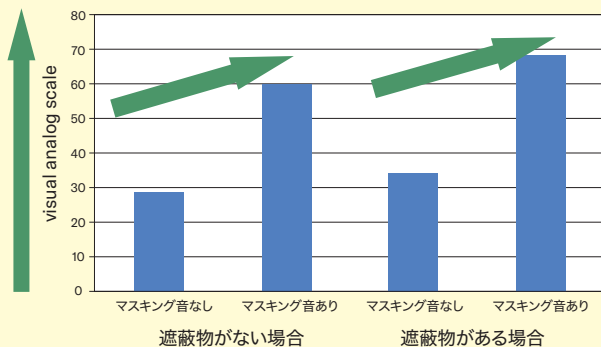
※主観的に感じた程度を0~100で評価した値

理由その1

周囲から聞こえてくる会話による作業妨害が改善

音声情報をわかりにくくするマスキング効果によって、周囲から聞こえてくる会話の内容をわかりにくくします。結果、他人の会話が気になって、作業が妨害されてしまう状況を改善します。

会話によって作業が妨害されない

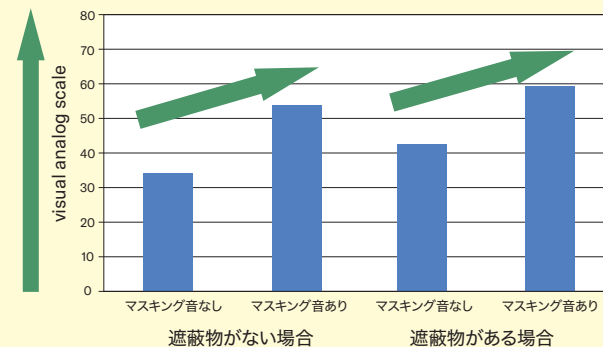


理由その2

「居心地の良さ」を向上

ヒトは静かすぎる環境にいると、少しの音でも気になり、居心地が悪いと感じることがあります。マスキング音によって、適度な音を付加することにより、「居心地の良さ」を向上させることができます。また、川のせせらぎ、鳥の声といった自然音が含まれるマスキング音をご使用いただくことで、自然音による癒し空間の演出も可能です。

居心地が良い



実験のサウンドマスキング音は「ヤマハスピーチプライバシーシステム」を使用しています。

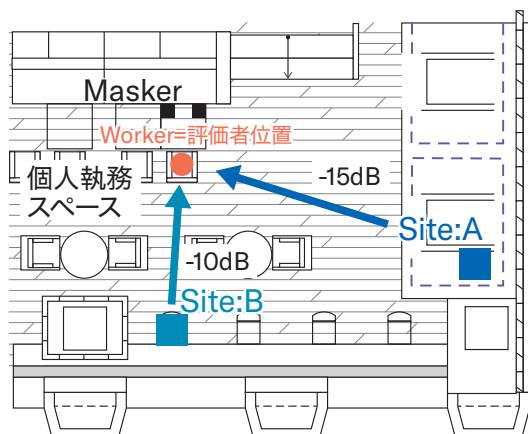
引用文献：新田晃久、平成25年度 修士論文

東京工業大学大学院 総合理工学研究科 人間環境システム専攻 清水研究室

“Web会議音の漏洩が個人執務へ与える影響 —オフィスにおけるマスキング音の評価—”

実験で想定したシーン

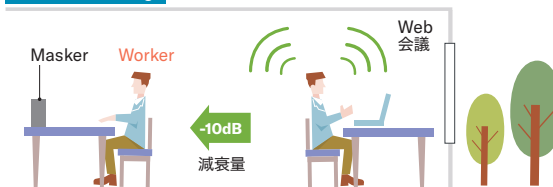
ヘッドホンを用いてWeb会議をしている音声聞こえてくる執務スペースにおいてサウンドマスキングを流すことによって、人が仕事に集中できる環境を作り出す。



Site : A. Absorb and Block



Site : B. Nothing



実験空間の平面図(株式会社イトーキ実験オフィス)とWeb会議音漏洩経路のイメージ

実験での音響条件

話者:スピーカーから話声約60dB(A)を再生
 SiteAからワーカーへの話声:約45dB(A)
 SiteBからワーカーへの話声:約50dB(A)

マスキング音:ヤマハマスキング音
 聞こえてくる話声に対し10dB(A)高い大きさを再生
 SiteAからの話声に対しマスキング:約55dB(A)
 SiteBからの話声に対しマスキング:約60dB(A)

暗騒音:一般的なオフィスでの暗騒音43dB(A)

Site A: 囲われた打ち合わせブース
 Site B: オープンな打ち合わせ席

音響条件項目		実験空間
残響時間 (1kHz)	音源Site : A	1.24s
	音源Site : B	1.27s
距離減衰	Site : A → ワーカー	14.7dB
	Site : B → ワーカー	10.2dB
ワーカー位置暗騒音		43.0dB(A)
Web会議話声レベル(0.5m地点)		約60.0dB(A)

作業内容

収束的思考:文章校正作業(1題600字15箇所程度 / 3分)

訂正例 私の父は、先週に月曜日から出張中だ。

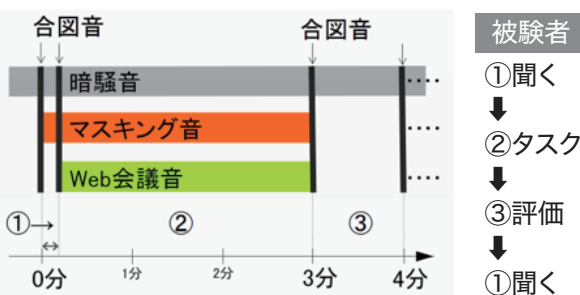
例題
 無人島のために戦争なんて、とつぶやける園がい。隣国が無法に兵(あき)れ、園地の荒涼にもまれる海保の精鋭たちは低頭しつ、小艇、開通つても(あお)る剛には出るまいと思、立ち止まらせる9月の言葉から、竹島は日本領に帰還したら、韓国に帰る作業と書かれた前井志麻子さん(47)、韓国人の夫は愛犬(ハクト)と呼び、妻は竹島と呼ぶ。「南島げんかはするけど本気ではやらない、夫婦関係も隣国との関係も、そういう約束の上を成立している。」「日本だけが楽園らしいという考えに、思いついた自衛隊にすぎないたの海外主義、象徴は象も悪いのです。」「新右翼を一本全撤、鈴木邦男さん(69)だ。「福島の島れようとしていた園地の問題は、その保護において福島の土産品は園地と作業の池津夏樹さん。「福島の園地との園地のゲームだが、福島は園地、住む土地を渡られた人々がいる。」「節電で猛暑を乗り切った大阪府府中の上田照子さん(70)に語る。「今ある電気で園地に合う生活にしたい。夏も冬も、電気を大切にすることを園地へもう変わらないと思う。」「パブリックの旗手を務めた全員の木村敬一さん(22)が、100メートル平泳ぎが園地に園地した。.....」

[誤りが15か所] ⇔ 15点満点

評価方法(VAS評価)



実験手順



被験者

- ① 聞く
- ↓
- ② タスク
- ↓
- ③ 評価
- ↓
- ① 聞く

評価用紙